保存版

ファゼル

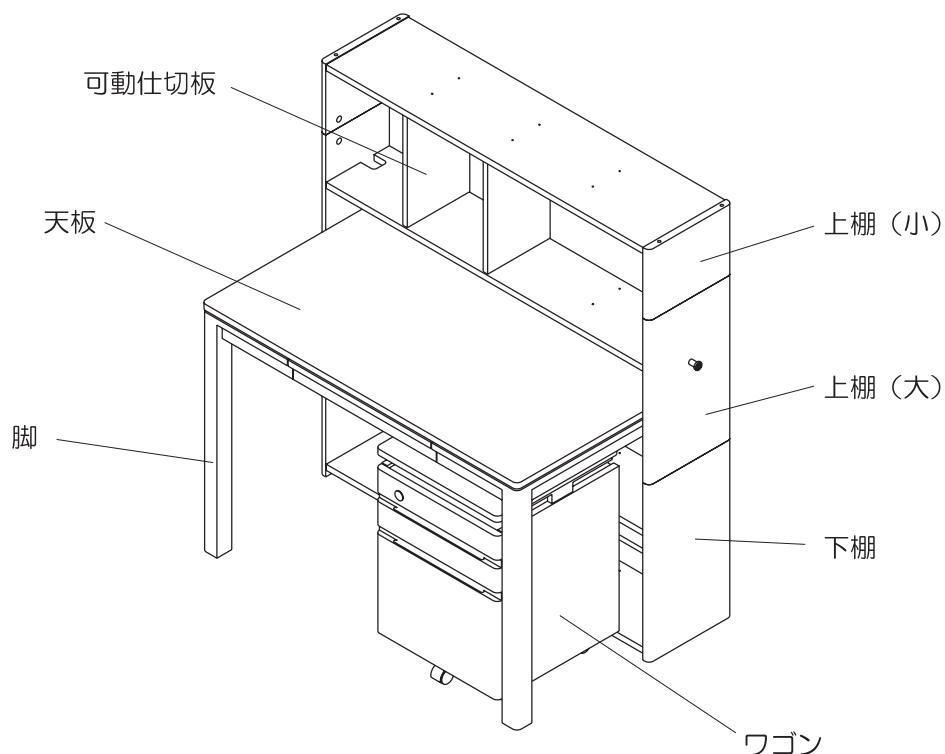
865CDD ／ デスク

組立・取扱説明書 【保証書付】

このたびはオカムラ スタディデスク をお買い上げいただき、誠に有難うございます。
この組立・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

安全に末永くお使いいただくためのご注意（必ずお守りください）

⚠ 警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

組立て完成図（各部の名称）

okamura

⚠ 警告

電灯の取扱いに関しては下記事項をお守りください。
誤った取扱いをすると感電や火災の恐れがあります。

- ●煙が出たり、変な臭いがした場合はすぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●電源プラグやコンセント周りのゴミやほこりは乾いた柔らかい布でよく拭いて取り除いてください。発火や火災の原因となることがあります。
- ●電源コードを無理に曲げたり、引張ったりしないでください。コードが破損し、火災、感電の恐れがあります。
- ●蛍光管や電球交換時は電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ●器具のスキマやソケット部に金属類（ヘアピンや針金等）を絶対に挿入しないでください。感電や火災の原因となります。
- ●水をかけたり、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
（水は電気を通しやすいので感電の恐れがあります。また、足元が濡れている場合は、一層感電しやすくなりますのでご注意ください。）
- ●長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●修理技術者以外の人が機器を分解したり、修理・改造は絶対に行わないでください。感電や漏電等の事故、故障の原因となります。

定格電圧	100V
定格消費電力	20W
定格周波数	50/60Hz

⚠ 注意

⚠ 組立て上のご注意

●説明書をよくお読みの上、組立て部品を残さず使用し、ネジはドライバーで確実にしめ、正しく組立ててください。組立てが不完全ですと、転倒事故や破損の原因となり危険です。
●組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品を傷つけたりボルトが外せなくなる恐れがあります。
●組立てパターンにより、使用しない部品、部材が生じる事があります。組替え時には必ず必要になるため、大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入していただくこととなりますのでご注意ください。
●組立後、平ら場所にて製品の本締めを行い、各部がしっかり取付いているか確認してください。

⚠ 取扱い上のご注意

●この製品を乱暴に取扱ったり用途以外での使用はしないでください。
●製品のいずれの場所にも絶対に体重をかけたり、乗ったりしないでください。転倒および破損の原因となり大変危険です。
●鍵は開け閉めの際、深く差し込んでから回してください。また、回し過ぎないようにしてください。鍵や錠が破損する恐れがあります。
●製品に載せるものの重さは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり大変危険です。

デスク天板最大積載質量	40kg（等分布静荷重）
ワゴン天板耐荷重	20kg

●ワゴンを分割する際は、回転金具の矢印が下を向いている事を確認してから取外してください。金具が外れていない状態で無理に取外そうとすると、事故や破損の原因となり大変危険です。

⚠ 据え付けのご注意

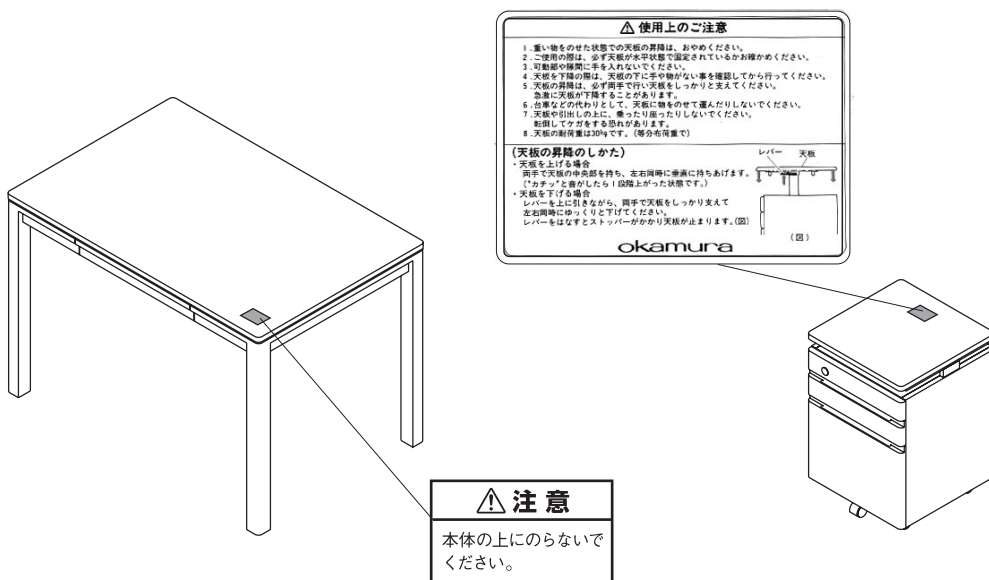
●水平な安定した場所を選んで設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用しますと、転倒や事故の原因となり危険です。
●日光が直接あたる所、温度の高い所や湿気の多い所でのご使用は変質・変形・変色のもととなりますので避けてください。
●製品の据え付け及び移動するときは、床を引きずらないで、必ずお二人で持ち上げて行ってください。（床を傷つける原因となります。）

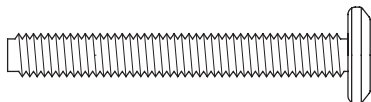
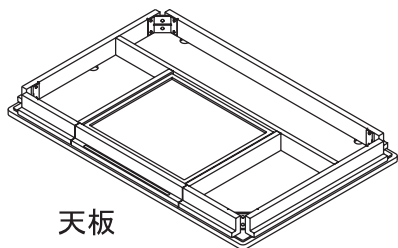
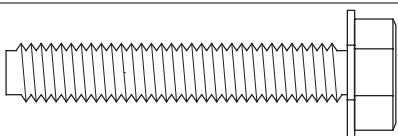
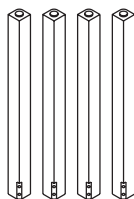
⚠ 末永くお使いいただくために

●熱いものを直接製品の上に載せないでください。変質・変形・変色の原因となります。
●製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。表面材がはがれる原因となります。
●硬いもので製品をこすったり、下敷きなどを使用せずにボールペンなどの先の硬いもので書きものをしないでください。変形・キズの原因となります。
●製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。
表面材のソリやフクレの原因となります。ぬれた場合は水分が残らないようにすぐにふき取ってください。
●金具がゆるんだまま使用していますと、変形・破損および転倒の原因となり大変危険です。定期的に金具がゆるんでいないか点検し、ゆるみの箇所はしっかりと締め直してください。
●本製品は素材特有の臭いがすることがありますので、定期的に換気をすることをおすすめします。

⚠ お手入れについて

●硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないよう、硬くしぼった布できれいにふき取ってください。絶対に水分が残らないようにしてください。
●アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

警告ラベルの位置と内容

※警告ラベルは剥がさないでください。

部品明細（組立て前に必ずご確認ください）

デスク

天板

脚

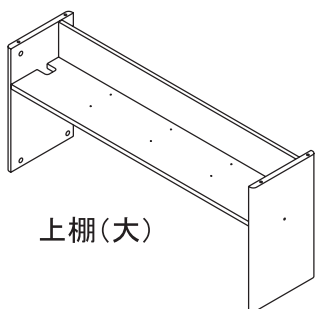
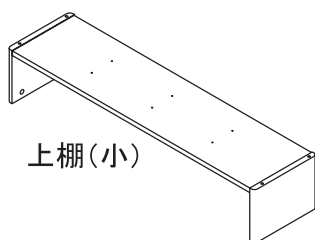
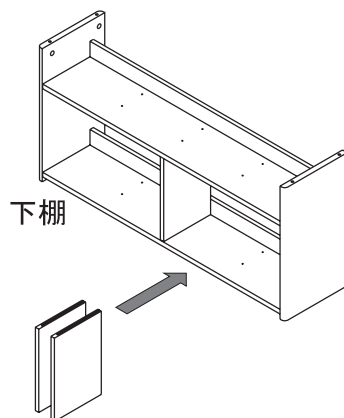
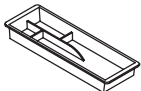
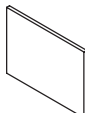
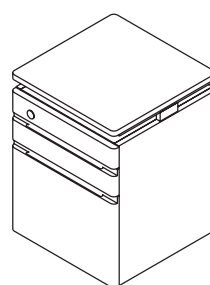
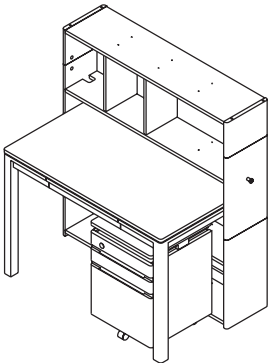
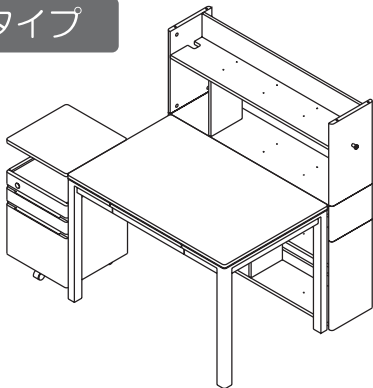
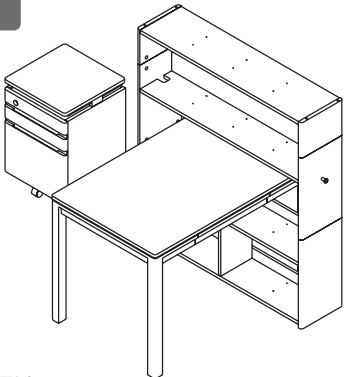
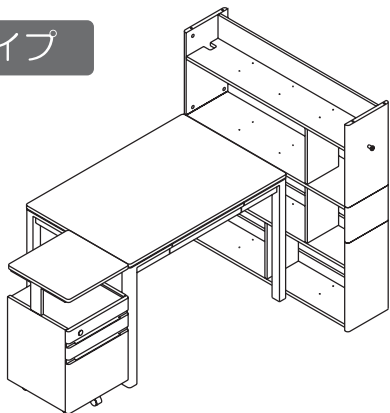
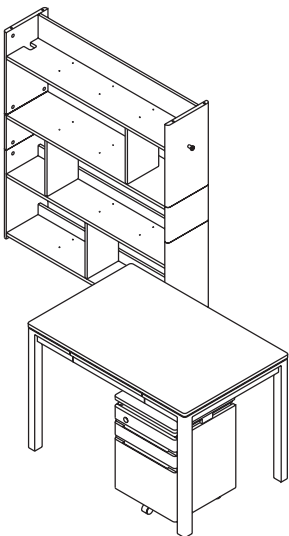
コネクトボルト（M6X45mm）	実物大
×2	

六角ボルト（M8X45mm）	実物大
×8	

連結ボルト（両側）	キャップ大	フック	スパナ	キー	転倒防止金具
×4	×4	×2	×1	×2	×8　×2

お願い：組立てには ⊕ドライバーを使用しますのでご用意ください。
電動ドライバー等の電動工具を使用すると、商品を破損させる恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。

上棚（大）

上棚（大）

上棚（小）・下棚

ワゴン

ワゴン本体

キャスター	キャスター（ストッパーあり）	ペントレイ
×3	×2	×1

仕切板
（ファイル引出しの中にあらかじめセットされています）　×2

デスク組立てパターン

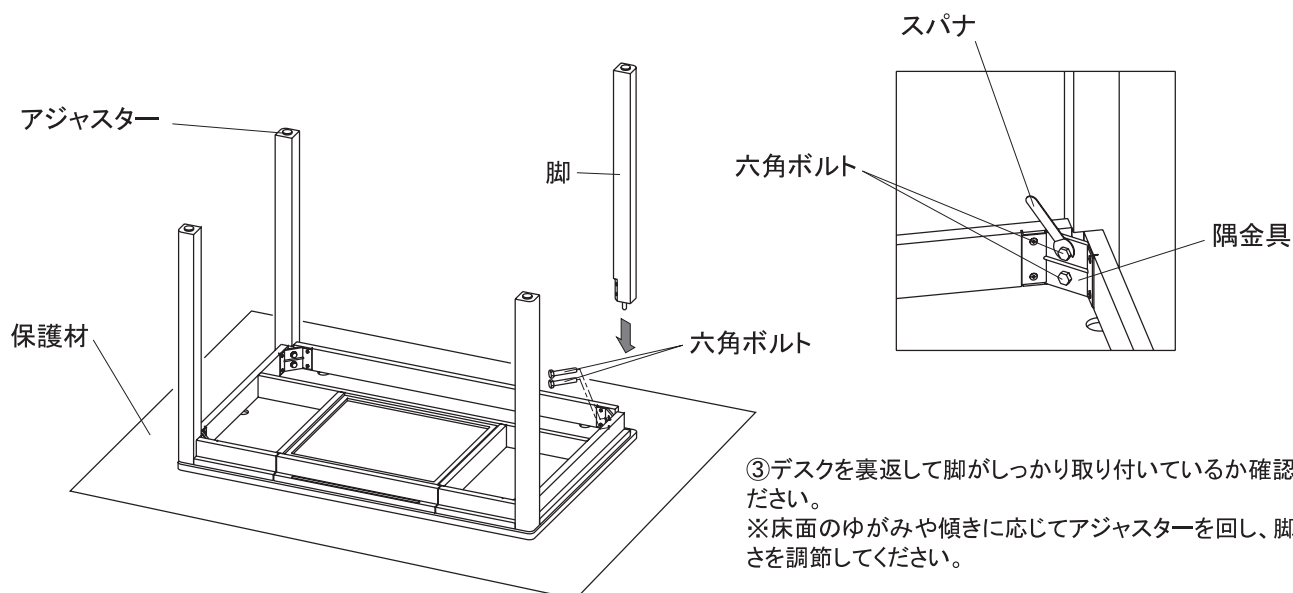
この製品は大きく分け5つの組立てパターンがあります。
まず、どのパターンで組立てるかを決めてから組立て始めてください。
組立て手順は、下図に表示されているページの内容を順に組上げてください。

デスクの組立て方法

1 デスク天板・脚の取付け

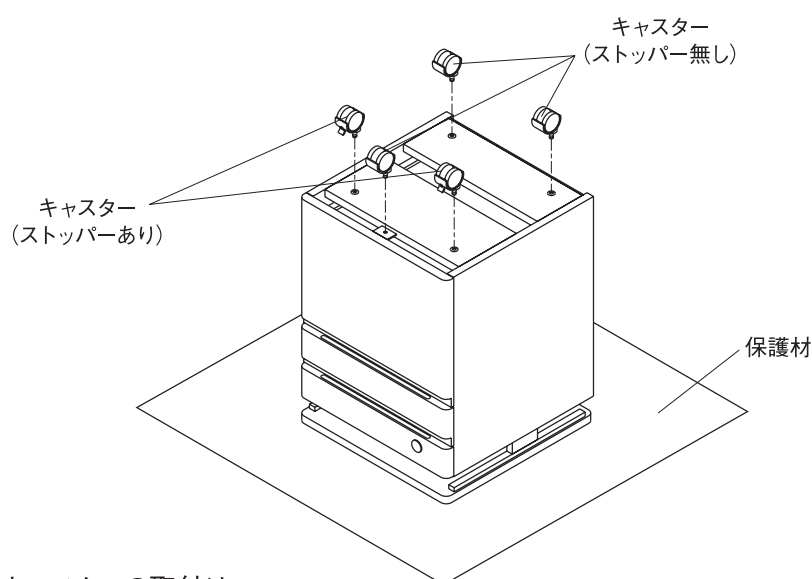
①天板下に保護材を敷いた状態で天板を裏返し、図のように脚を天板の四隅に1本ずつ仮止めします。
1本の脚に2ケ所ずつ、隅金具と脚を六角ボルトにて固定してください。
この時、付属のスパナを使い六角ボルトを固定してください。

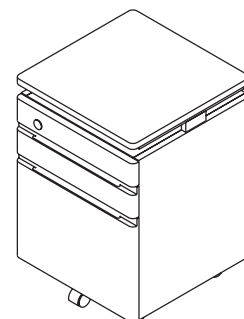
②仮止め後、4本の脚全てを付属のスパナにてしっかりと増し締めしてください。

③デスクを裏返して脚がしっかり取り付いているか確認してください。
※床面のゆがみや傾きに応じてアジャスターを回し、脚の長さを調節してください。

※保護材は部品セット内には入っておりませんので、お客様の方でご用意ください。

ワゴンの組立て方法

1 ワゴンの組立て方法

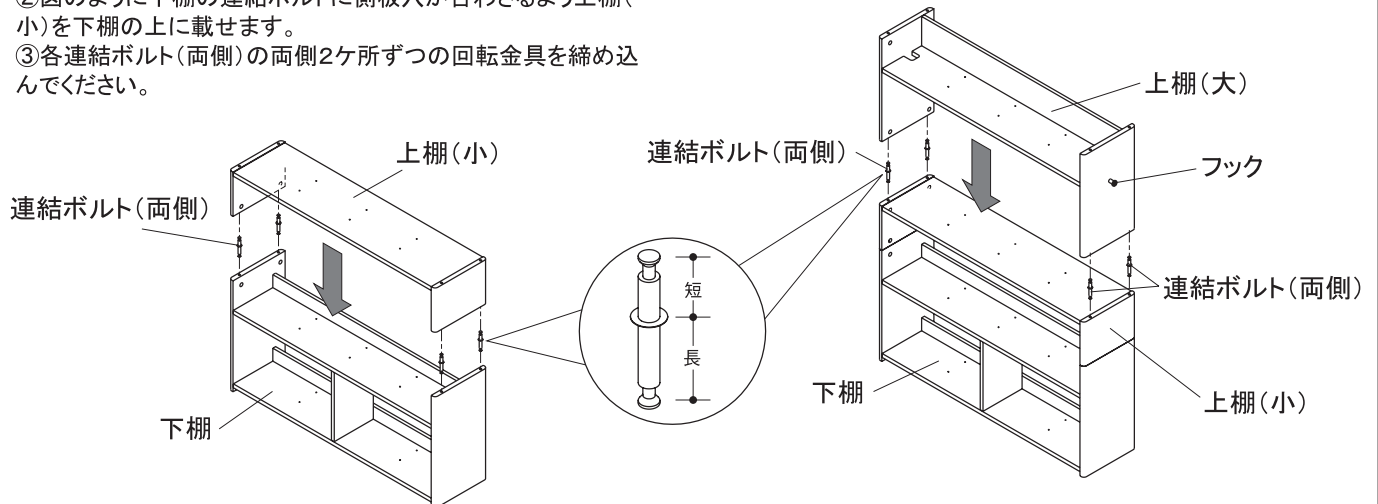
キャスターの取付け

キャスターをワゴン本体の裏面とファイル引出し前板下の金具の穴に挿し込んでください。
ファイル引出しとワゴン後方2ケ所にはストッパー無しキャスターを、ワゴン前方の2ケ所にストッパーありキャスターをそれぞれ取付けてください。

※保護材は部品セット内には入っておりませんので、お客様の方でご用意ください。

書棚の組立てと設置方法

Aタイプ

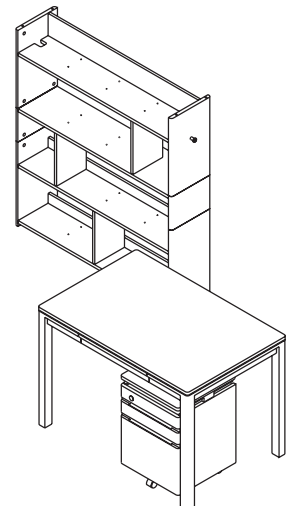
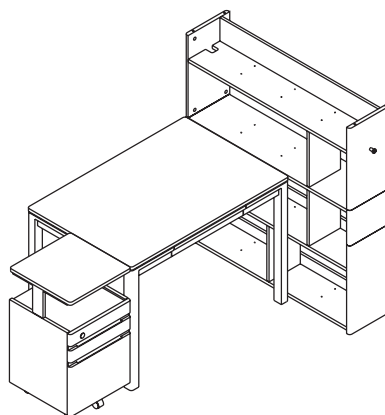
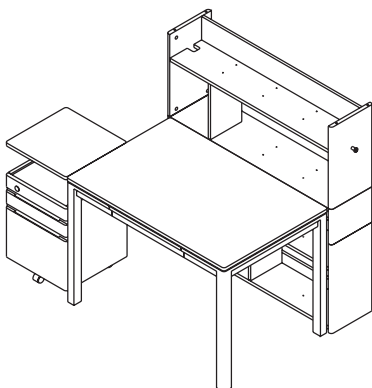
1　書棚の組立て（Aタイプ）

①下棚の側板　図の位置に、連結ボルト（両側）を4ケ所差し込んでください。この時連結ボルト（両側）の向きが図の様になるようにしてください。
②図のように下棚の連結ボルトに側板穴が合わさるよう上棚（小）を下棚の上に載せます。
③各連結ボルト（両側）の両側2ケ所ずつの回転金具を締め込んでください。

④　①②③の要領で、図の様に上棚（小）の上に上棚（大）を取付けてください。

〈回転金具について〉
回転金具はあらかじめ後面板と棚板に取付けられています。

2　書棚の設置方法（Aタイプ）

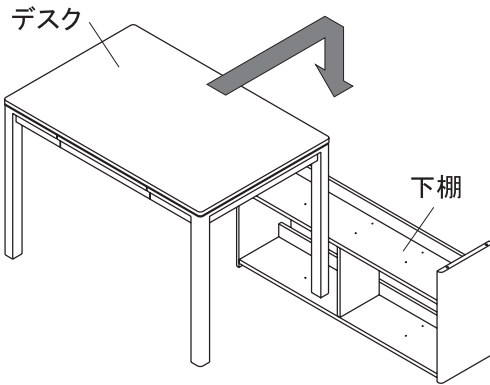
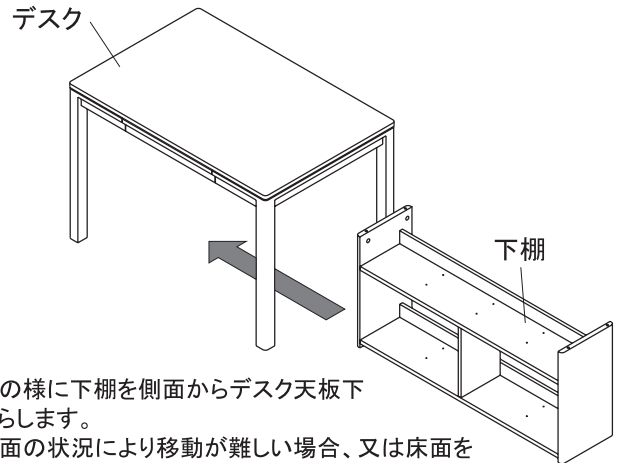
Aタイプ書棚は下の図の様なスタイルになるように設置する事ができます。
※下図は一例です。 デスクとワゴンはお好きにアレンジすることが出来ます。

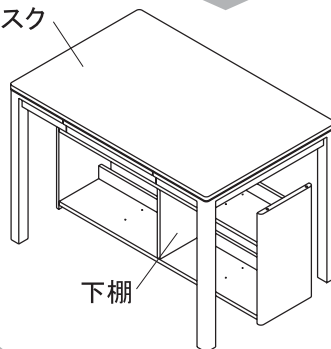
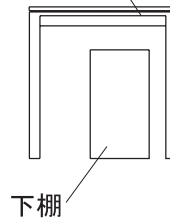
！注意：地震時に転倒の恐れがありますので、書棚は単独で置かないでください。
どのようなスタイルでも基本的に後面を壁面に付け、転倒防止金具を取付けて下さい。取付け詳細はP9参照

書棚の組立てと設置方法

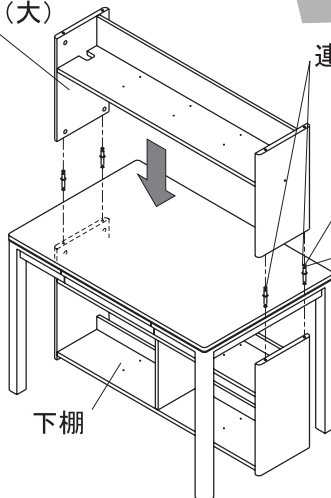
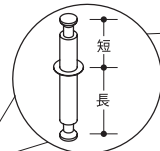
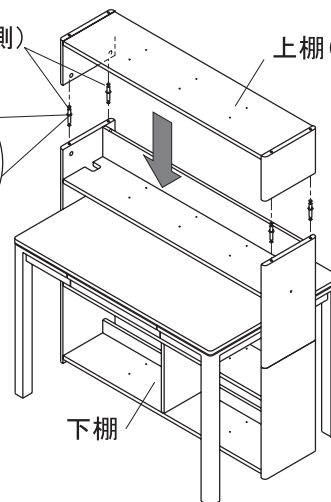
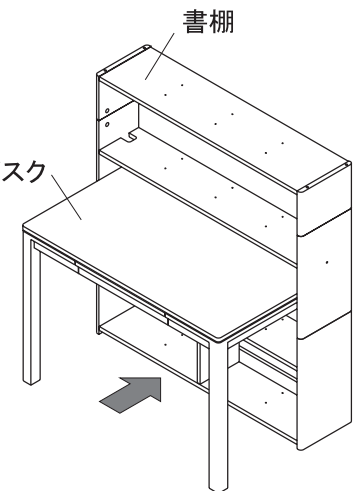
Bタイプ

1 書棚・デスクの組立て(Bタイプ)

Bタイプの組立てと設置方法として2通りの方法があります。
部屋の状況やシェルフの状態に合わせ、やり方を選択してください。

デスクを動かす

①図のようにデスクを持ち上げ、デスク脚を下棚の奥へゆっくり下ろしてください。
※作業は2人以上で行ってください。

下棚を動かす

①図の様に下棚を側面からデスク天板下にずらします。
※床面の状況により移動が難しい場合、又は床面をキズ付ける恐れがある場合は、デスクを持上げる方法で設置してください。

②デスク、又は、下棚を動かし、図の様な位置関係になるようにしてください。
この時、下棚の側板が天板より外側に出るように置いてください。

〈回転金具について〉
回転金具はあらかじめ後面板と棚板に取付けられています。
右に回すと締ります。
左に回すと緩みます。
接続ボルト差込方向です。

③下棚の側板 図の位置に、連結ボルト(両側)を4ケ所差し込んでください。この時連結ボルト(両側)の向きが図の様になるようにしてください。
④図のように下棚の連結ボルトに側板穴が合わさるよう上棚(大)を下棚の上に載せ、各連結ボルトを締め込んでください。

⑤ ③④の要領で、図の様に上棚(大)の上に上棚(小)を取付けてください。

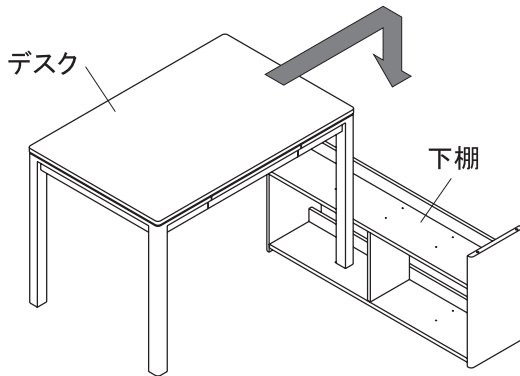
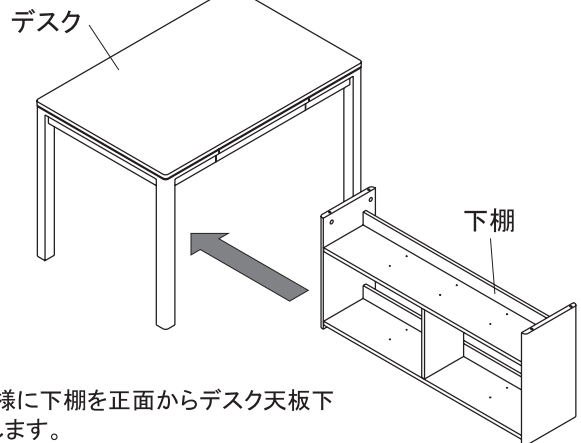
⑥書棚を後方にずらし、デスクの後脚がシェルフ内に納まるようにしてください。

書棚の組立てと設置方法

Cタイプ

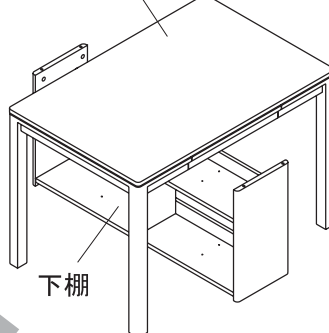
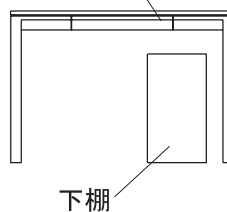
1 書棚･デスクの組立て(Cタイプ)

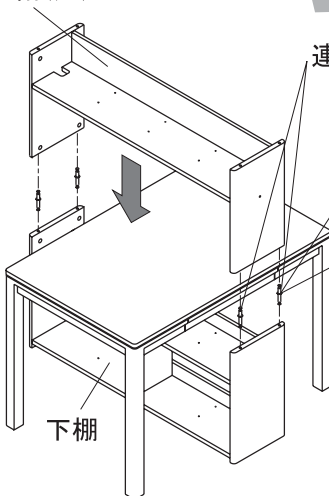
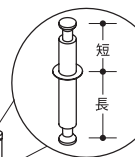
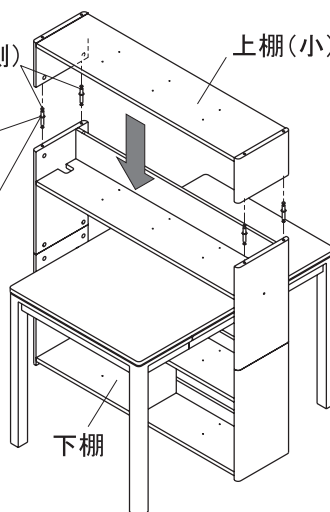
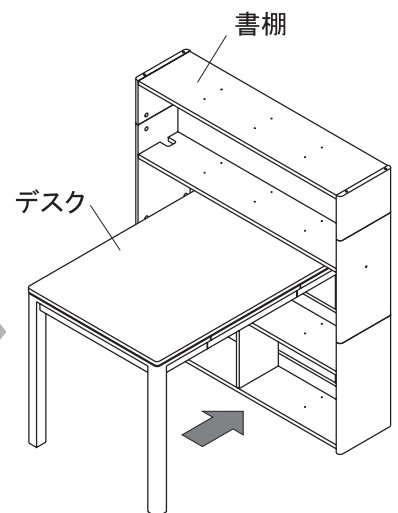
Cタイプの組立てと設置方法として2通りの方法があります。
部屋の状況やシェルフの状態に合わせ、やり方を選択してください。

デスクを動かす

①図の様にデスクを持ち上げ、デスク脚を下棚の奥へゆっくり下ろしてください。
※作業は2人以上で行ってください。

下棚を動かす

①図の様に下棚を正面からデスク天板下にずらします。
※床面の状況により移動が難しい場合、又は床面をキズ付ける恐れがある場合は、デスクを持上げる方法で設置してください。

〈回転金具について〉
回転金具はあらかじめ後面板と棚板に取付けられています。

右に回すと締ります。
左に回すと緩みます。
接続ボルト差込方向です。

②デスク、又は、下棚を動かし、図の様な位置関係になるようにしてください。
この時、下棚の側板が天板より外側に出るように置いてください。

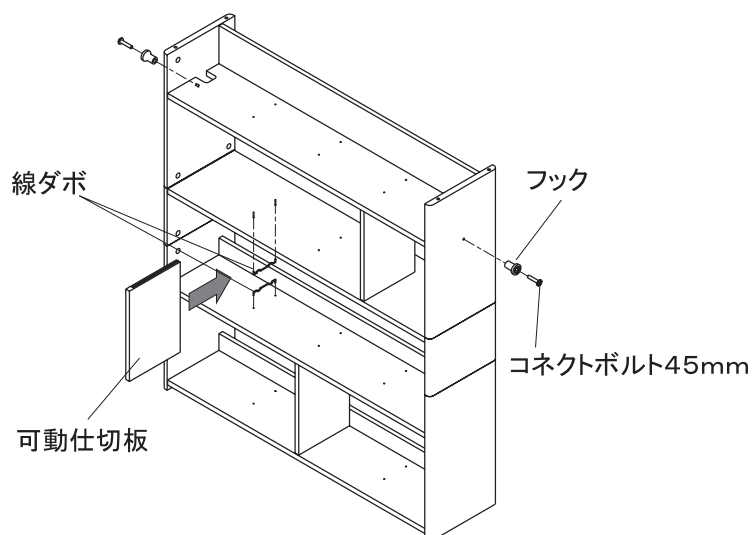
上棚(大)
連結ボルト(両側)
短
長
上棚(小)
書棚
デスク
下棚

③下棚の側板 図の位置に、連結ボルト(両側)を4ケ所差し込んでください。この時連結ボルト(両側)の向きが図の様になるようにしてください。
④図のように下棚の連結ボルトに側板穴が合わさるよう上棚(大)を下棚の上に載せ、各連結ボルトを締め込んでください。

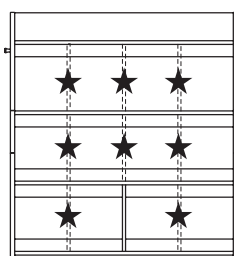
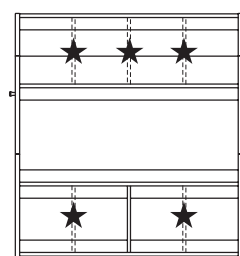
⑤ ③④の要領で、図の様に上棚(大)の上に上棚(小)を取付けてください。

⑥書棚を後方にずらし、デスクの後脚がシェルフ内に納まるようにしてください。

書棚の使用方法

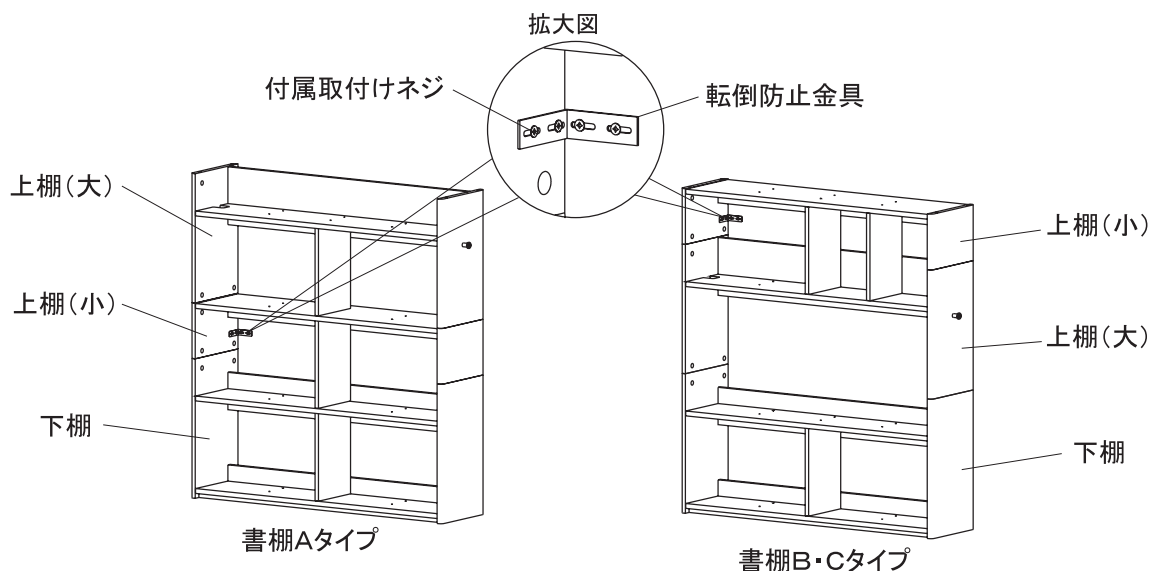
可動仕切板の使い方

可動仕切板は図Aの位置に取付ける事ができます。
①下棚に取付いている可動仕切板を引き抜き、その上下に差し込まれている線ダボを取外してください。
②取付けたい位置の上下ダボ穴に線ダボをそれぞれ差込みます。
③②の線ダボに合せ可動仕切板を正面から差込んでください。

フックの取付け

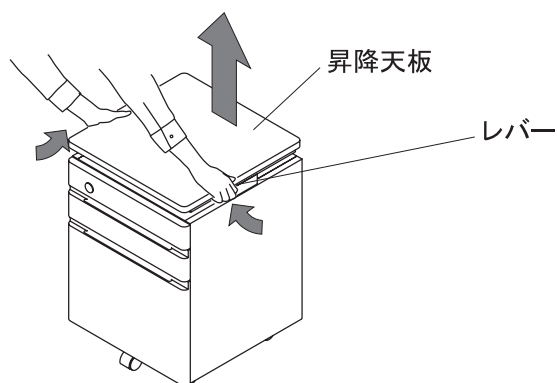
フックは図の上棚（大）の図の位置に取付ける事が出来ます。
お好みに応じてコネクトボルトで取付けて下さい。

転倒防止金具の取付け

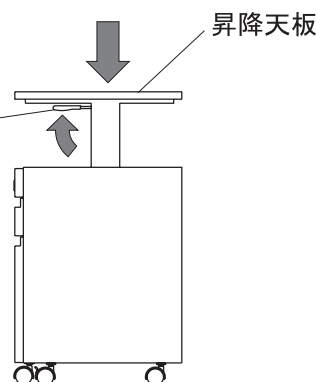
！注意：地震時に転倒の恐れがありますので、書棚は単独で置かないでください。
基本的に後面を壁面に付け、転倒防止金具を取付けて下さい。

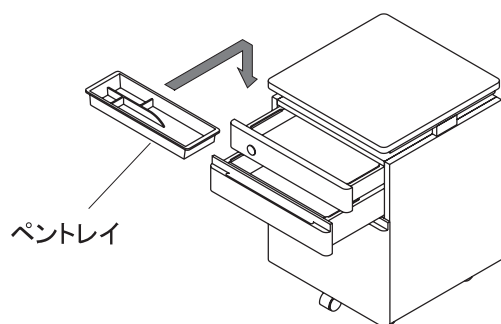
転倒防止金具は上棚（小）と壁面を固定してください。
書棚Aタイプ、B・Cタイプで図の位置に取付けられます。
取付けは転倒防止金具付属のネジにて、左右に取付けて下さい。

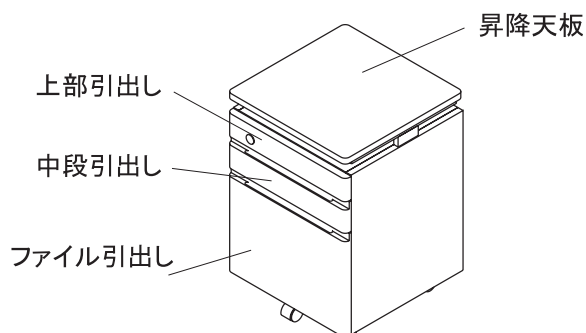
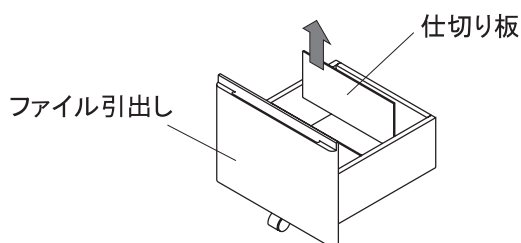
※壁面の状況等により付属の転倒防止金具な使用できない場合、市販の耐震用具にて転倒対策を行ってください。

ワゴンの使い方

昇降天板の上げ方

両手で天板中央付近　左右のレバーごと天板を持ち上げてください。この時天板は垂直に持上げてください。
（カチッと音がしたら1段階上がった状態です）

昇降天板の下げ方

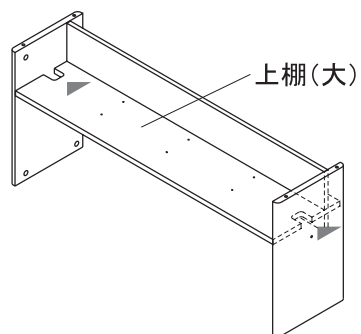
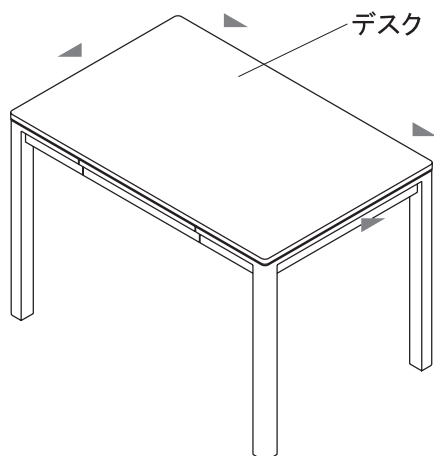
天板を下げる時も、上げる時同様にレバーを引いた状態で天板を下げてください。この時も天板が垂直に下がるようにしてください。（カチッと音がしたら1段階下がった状態です）

ペントレイの置き方

ペントレイは、上段引出し、中段引出しの両方にセットできます。
引出し枠の左右切欠き部にペントレイの両側を合せ、落とし込んでください。

仕切り板の取外し方

ファイル引出しの仕切り板は上方向に引き抜くと容易に取外すことができます。

照明の取付け方

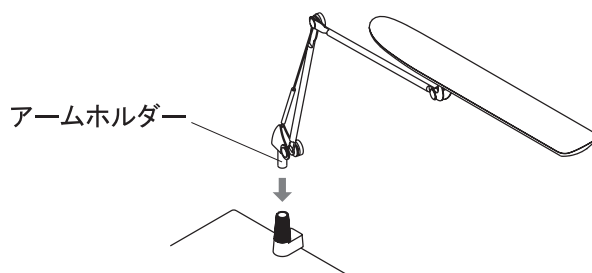
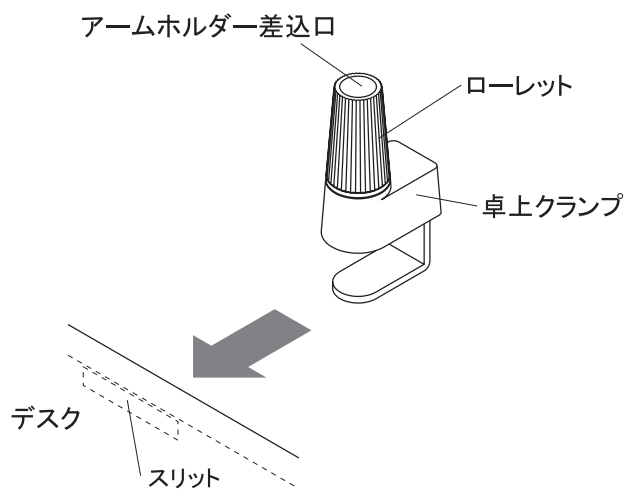
照明の取付け位置

付属の照明は図の矢印の位置に取付けることができます。
（矢印部はスリット形状の卓上クランプ差込口があります。
お好みの位置1ヶ所選んでください。

※照明の取付け方詳細は、照明付属の取扱説明書を参照してください。

照明の取付け方法

①スリットに卓上クランプをしっかりと差込み、ローレット部分を締付け卓上クランプを固定してください。

②卓上クランプ上面から照明器具のアームホルダーを差込んでください。

③卓上クランプがしっかりと固定されているか確認し、不安定な場合はローレットを締め直してください。

修理と製品保証について

この度はオカムラ学習家具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けいたしております。
万一保証期間内(社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく。)に故障した場合は(お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所、現象別表による。)無料にて修理させていただきます。

修理は、お買上の販売店に、必ず本保証書を添えて、ご依頼ください。

所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。

保証書

	不具合箇所・現象の例			期間
保証期間	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの磨耗		1年
	機構部・稼動部	引出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構の故障		2年
	構造体	強度・構造体にかかわる破損		3年
品名	デスク	品番	865CDD	
お買上日	年 月 日			
おところ				
お名前				
販売店名	㊞			

1. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
   イ)組立・取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
   ロ)お買上後の輸送、移動、落下などによる故障。
   ハ)お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理・改造などによる故障。
   ニ)火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
   ホ)本書にお買上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
   ヘ)保証書の提示がない場合　ト)消耗部品の交換
2. 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
5. 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店又は弊社支店あてにお問合せください。

株式会社岡村製作所　〒220-0004 神奈川県横浜市北幸1-4-1 天理ビル19階

良い品は結局おトクです

株式会社 岡村製作所　インテリア製品部
ホームページアドレス　http://www.okamura.co.jp/
お問い合わせ・ご相談は　お客様サービスセンターへ
フリーダイヤル0120-81-9060　月曜～金曜（祝日を除く）9:00～18:00

T0906−05